

ます
本、あり \square 。

-?を!に変える本との出会いを見つけるマガジン-
///Vol.29///

女性史・ジェンダー史の現在



❄️ 女性史・ジェンダー史とは

女性史とは、「女性を主体とした歴史」もしくは「ジェンダー視点による歴史」のことを言います。1960年代以前の政治史、経済史のなかでは「女性は見えない存在」でした。しかし、1960年代以降の社会史とフェミニズムの影響によって、「女性の領域も歴史の対象」になりました。

「女性史は女性を対象とするローカルな歴史として出発」し、「女性/男性というカテゴリーそのもの、性差の構築の歴史性を問うジェンダー史へと発展」しました。

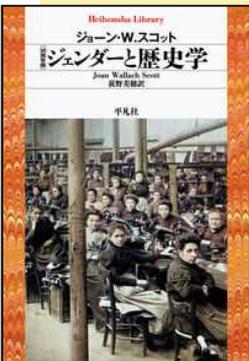
(引用)井上輝子 [ほか] 編『岩波女性学事典』岩波書店 2002

2020年末に開催された国立歴史民俗博物館の企画展示「性差(ジェンダー)の日本史」では、よく知られた史資料にジェンダーの視点をあて、女性・男性という区分のなかで人びとがどう生きてきたのかを資料から明らかにし、大きな反響を呼びました。



『ジェンダーと歴史学(30周年版)』

ジョン・W.スコット著；荻野美穂訳 平凡社 2022



本書の初版は1992年に翻訳出版され、歴史分析のカテゴリーとして「ジェンダー」を新たに取り入れることを提起し、歴史学に大きな影響を与えました。著者は、歴史の中で性的差異がどのように利用されてきたのかを説明し、女／男が歴史的に差異化され「性差は作られ」てきた過程を明らかにしています。

『ジェンダー史とは何か』

ソニア・O・ローズ著；長谷川貴彦, 兼子歩訳 法政大学出版局 2016



ジェンダー史を単に「女性の歴史」と捉えるだけではなく、従来の歴史学に新たな視点をもたらす存在であると捉え直すことができる入門書。歴史研究の事例を取り上げ、なぜ歴史学の中にジェンダー史が生まれたのか、どのように発展してきたのかについて解説しています。「ジェンダー」、「歴史」、「フェミニズム史学」という用語の定義から考えることのできる一冊。

日本の女性史・ジェンダー史について
知りたいな



『ジェンダー分析で学ぶ女性史入門』

総合女性史学会編 岩波書店 2021

ジェンダー視点での史資料分析の事例をわかりやすく紹介した入門書。古代から現代にいたるまで、女官、埴輪、歌舞伎、遊郭、絵本、男女別学など様々なテーマから13本の論考が掲載されています。女性史だけではなく、「男性史の方法とその可能性」、「LGBT」史研究と史資料」の論考も。

『性差（ジェンダー）の日本史』

「性差の日本史」展示プロジェクト編 集英社インターナショナル 2021

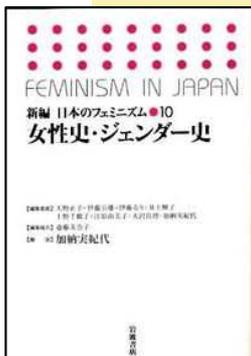


2020年10～12月に開催された国立歴史民俗博物館の企画展示「性差（ジェンダー）の日本史」は、ジェンダーを本格的に取り上げた初めての試みの展示でした。様々なメディアで取り上げられ話題となり、図録は大増刷されました。新書版の本書は展示内容がコンパクトにまとめられています。

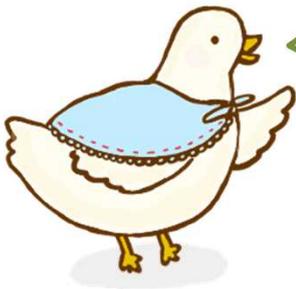
図録はこちら [『性差（ジェンダー）の日本史：企画展示』](#) 国立歴史民俗博物館編集
歴史民俗博物館振興会 2020

『女性史・ジェンダー史(新編日本のフェミニズム；10)』

天野正子 [ほか] 編集委員；斎藤美奈子編集協力；加納実紀代解説
岩波書店 2009



「女性史・ジェンダー史」をテーマに、1970年代から2000年代の日本の文献を集めたアンソロジー。女性史研究、地域女性史、女性の聞き書き、女性の戦争経験、近代家族などのテーマで、23本の文献が収録されています。「新編日本のフェミニズム」シリーズは「リブとフェミニズム」、「セクシュアリティ」、「男性学」など全12巻。初めてフェミニズムを学ぶ人におすすめです。



地域女性史とは、ある一定の地域を研究対象とした女性史のことです。自分たちの住む地域社会に軸足をおいた歴史研究が目指されてきました。

(引用)『ジェンダー分析で学ぶ女性史入門』総合女性史学会編 岩波書店 2021

『地域女性史文献目録(増補改訂版補遺)』

折井美耶子, 山辺恵巳子著; 矢野操編集協力 ドメス出版 2010



画像: 初版

全国各地で出版された地域女性史関連の資料を都道府県別にまとめて掲載。地域女性史の資料探しに役立ちます。資料や、巻末の地域女性史研究会一覧から、全国で行われている活動を知ることができます。

2003年に初版、2005年に増補改訂版が発行されています。

『地域女性史への道：祖母たち・母たちの物語を紡ぐ』

折井美耶子著 ドメス出版 2021



地域女性史研究や地域女性史の現状と課題、オーラル・ヒストリー、史資料の保存問題など地域女性史について幅広く知ることができる一冊です。女性史研究者としての著者の取り組みや、「女性たちによる、歴史の表に現れない地域の女性たち—祖母たち・母たちのあゆみを知りたい、記録したいという思い」から各地に結成された女性史研究会の活動内容が書かれています。

『第12回全国女性史研究交流のつどい in 岩手：

次世代に受け渡す女性史を：岩手(遠野・大槌・宮古)から』

「第12回全国女性史研究交流のつどい in 岩手」実行委員会編 2015



「全国女性史研究交流のつどい」は、1977年に愛知女性史研究会の呼びかけによって始まりました。各地域が実行委員会を設け、全国に呼び掛けて開催されています。つどいの報告集・資料集から地域女性史の活動を知ることができます。

 NPO法人ウィメンズ アクション ネットワーク(WAN)のミニコミ図書館で報告集(第1回～第12回)が公開されています

<https://wan.or.jp/dwan/dantai/detail/86?title=109#tab&gsc.tab=0>

世界の女性史・ジェンダー史について
知りたいな



『女性から描く世界史：17～20世紀への新しいアプローチ』

水井万里子 [ほか] 編 勉誠出版 2016



世界史の中に女性をどう叙述するのか、その方法論を探ることを目的とした論文集です。特に、近代ヨーロッパを中心とする世界史叙述とは一線を画すことを目指し、アジア諸地域、ヨーロッパ諸地域、中南米までを視野に入れ、国内外16人の研究者による論文が掲載されています。

『ジェンダーから見た世界史：歴史を読み替える』

三成美保, 姫岡とし子, 小浜正子編 大月書店 2014



高校の歴史教科書に対応した、ジェンダー視点による世界史を紹介しています。日本のジェンダー史研究は大きな発展をとげていますが、その成果が学校教育に反映されていないという課題をもとに出版されました。気軽な読み物としてもおすすめです。

関連情報  近年、教科書でも男性主体の歴史記述が見直されてきています

「ThinkGender：ジェンダー、教科書で多角的に男性主体の歴史記述 格差大きい現代日本 社会構造の問題、直面する前に」
(朝日新聞 2022.04.04)



『はじめての西洋ジェンダー史：家族史からグローバル・ヒストリーまで』

弓削尚子著 山川出版社 2021



西洋の歴史をジェンダー視点から考える入門書。家族史、女性史、男性史等におけるジェンダーに歴史学がどのような問題意識をもってアプローチし、解き明かしてきたのかを紹介しています。「200年ほどの歴史しかもたない家族モデル」、「ウーマン・リブ運動と女性史」、「歴史研究にジェンダー概念を用いる3つの意義」など各章が細かく分けられ、興味のある項目から読むことができます。

女性アーカイブセンター

女性教育や男女共同参画施策等に関わった全国的な女性団体や女性の史・資料の収集・整理・保存・提供を行っています

写真、手紙、原稿など一般に出版されていない1点物の資料を収集しています



国立女性教育会館女性デジタルアーカイブシステム

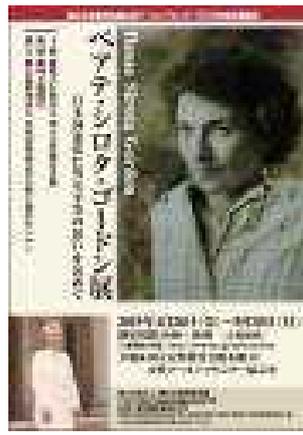
女性アーカイブセンターが所蔵する資料の目録とデジタル画像を提供しています
https://w-archive.nwec.jp/il/meta_pub/G0000337warchive



● 明治時代以降の国内と国際動向をまとめた「近代～現代女性史年表」も公開

女性アーカイブセンター展示

<https://www.nwec.jp/event/archivecenter/index.html>



所蔵展示、他機関と連携した企画展示を行っています。

オンライン展示

「ベアテ・シロタ・ゴードン展～日本国憲法に男女平等の思いを込めて～」
「北京+25～第4回世界女性会議から25年～展」
「女性と医学展～チャレンジした女性たちからチャレンジする女性たちへ～」

● 展示パネル貸出

女性アーカイブセンターの展示パネルの貸出を行っています
イベント・企画等にぜひ、ご活用ください。PDFでダウンロードもできます

<https://www.nwec.jp/event/archivecenter/panel.html>



女性・ジェンダー関連情報を調べるのに最適！



国立女性教育会館 文献情報データベース

https://winet2.nwec.go.jp/bunken/opac_search/



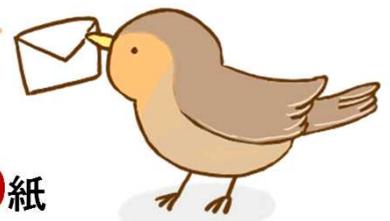
文献情報データベースでできること

- ①女性教育情報センターの豊富な所蔵資料が検索できます
図書・地方行政資料14万冊、雑誌4千タイトル、
新聞記事55万件、和雑誌記事7万6千件
- ②資料には、登録時に関連キーワードが付与されているため、
幅広い、効率的な検索ができます

新着資料アラートサービス

関心のある「キーワード」や「著者」などをあらかじめ登録すると、
その条件にあった女性教育情報センターの新着資料をEメールでお知らせ！

最新情報を受け取るには、新聞記事を登録するのが
オススメです！



新聞記事は全国紙・地方紙（北海道～沖縄県）合わせて50紙

【詳細はこちらから】

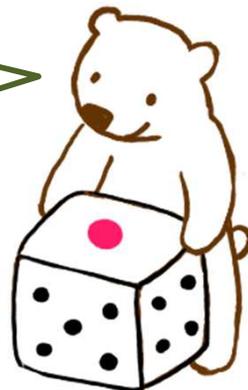
<https://www.nwec.jp/database/new.html>



❄️ 男女共同参画すごろく

戦後から現在まで男女平等に関わる世の中の流れを遊びながら楽しく学ぶことができます。電子版では、クイズもあり、最大6人までプレイすることができます。

国立女性教育会館リポジトリからダウンロードすることができます



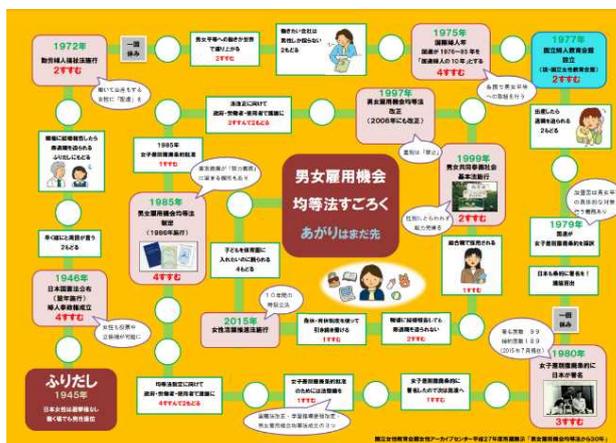
電子版

<http://id.nii.ac.jp/1243/00018792>



紙版

<http://id.nii.ac.jp/1243/00018658>



❄️ 女性史・ジェンダー史の現在 ❄️
女性教育情報センターテーマ展示（1～3月）

<https://www.nwec.jp/event/center/history.html>



本、あり。は国立女性教育会館リポジトリからダウンロードできます

<http://id.nii.ac.jp/1243/00018974>



編集・発行: 独立行政法人国立女性教育会館 情報課

〒355-0292

埼玉県比企郡嵐山町菅谷728

TEL:0493-62-6195

URL:<https://www.nwec.jp/facility/center.html>



発行: 2023年1月